

平成 16 年 6 月期 第 3 四半期業績の概況（連結）

平成 16 年 4 月 22 日

上場会社名 株式会社キングジム (コード番号：7962 東証 第2部)
 (URL http://www.kingjim.co.jp) (TEL (03) 3864-5883)
 代表者 役職名 代表取締役社長 氏名 宮本 彰
 問合せ先責任者 役職名 専務取締役管理本部長 氏名 田村 聡

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

会計処理の方法の最近連結会計年度における : 有
 方法との相違の有無

(内容) 法人税等の計上基準、その他影響額が僅少なものにつき、一部簡便な手続きを用いております。

連結及び持分法の適用範囲の異動の状況 : 無
 公認会計士又は監査法人による関与の有無 : 無

2. 平成 16 年 6 月期第 3 四半期業績の概況 (平成 15 年 6 月 21 日～平成 16 年 3 月 20 日)

(1) 経営成績 (連結) の進捗状況 (百万円未満切捨)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
16 年 6 月期第 3 四半期	22,755	-	1,289	-	1,301	-	638	-
15 年 6 月期第 3 四半期	-	-	-	-	-	-	-	-
(参考) 15 年 6 月期	31,517		1,785		1,736		687	

(注) 四半期業績の開示は、当期が初年度でありますので、前年第 3 四半期の実績及び増減率は記載していません。

[経営成績 (連結) の進捗状況に関する定性的情報等]

当第 3 四半期のわが国経済は、デフレの長期化から景気は総じて厳しい状況で推移しましたが、輸出企業の業績改善や株式市場の回復また設備投資の増加傾向など一部に景気回復の兆しが見られるようになってきました。このような状況の下、当社グループのおかれた環境は、法人需要家での消耗品の経費節減が続いており、先行きは依然予断を許さない状況ではありますが、製造業を中心とした景気回復基調を背景に当社商品の需要には改善の兆しが見えつつあります。

売上面では、一般文具部門におきましては、低価格需要を獲得するため、主力品の「キングファイル」に G シリーズを新たに投入いたしました。また、昨年 9 月に発売した次世代型「クリアファイルカラーベース“ヒクタス”」は、その後もバリエーションを拡大し、積極的な販売展開を行いユーザー認知は確実に浸透しております。

電子文具部門におきましては、ラベルライター「テプラ」のパソコン接続機「SR3900P」や「テプラ」の最上位機種「SR920」を新規投入し、順調な売上で推移しております。電子文具の営業活動では、本年 4 月より施行された消費税総額表示への対応として、テプラによる用途拡大の提案や昨年 8 月に累計販売台数 500 万台突破を記念した「テプラ」キャンペーンを展開するなど積極的に実施しております。

これらの結果、売上高は、227 億 55 百万円、経常利益は 13 億 1 百万円、当期純利益は 6 億 38 百万円となりました。

(2) 財政状態 (連結) の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率
	百万円	百万円	%
16 年 6 月期第 3 四半期	29,438	18,035	61.3
15 年 6 月期第 3 四半期	-	-	-
(参考) 15 年 6 月期	27,922	18,037	64.6

[財政状態 (連結) の変動状況に関する定性的情報等]

財政状態は、前中間期末に比べ支払手形、買掛金の増加等により、負債総額が 27 億 98 百万円増加した結果、株主資本比率は 6.4 ポイント減少し 61.3% になりました。

3. 16年6月期の連結業績予想（平成15年6月21日～平成16年6月20日）

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	31,400	1,870	920

（参考）1株当たり予想当期純利益（通期） 57円48銭

[連結業績予想に関する定性的情報等]

第3四半期につきましては、ほぼ計画どおり推移しておりますので、通期の業績予想の変更はいたしません。

上記の業績予想につきましては、本資料発表日現在において入手可能な情報からの判断に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。